



農業者の所得増大 & 農業生産の拡大



- ✓ 台風の被災農家へJA単独助成3,234万円(2月)
 該当農家に、平成29年作付け分としてナガイモ、ゴボウ、ネギなど20品目で、JAから購入した種苗費の1/2を助成した。対象農家995戸、対象面積479㍍。
- ✓ 担い手育成を強化(4月、9月)
 ナガイモ、ニンニクに加え、ネギ・ゴボウ・ピーマンで新たに育成塾を開講し、若手農家らが栽培技術を学ぶ(4月)。
 おいらせ町では、若手農家を集めた初の合同勉強会を開催した(9月)。
- ✓ 低温長雨対策本部設置(8月)
 農家組合員に随時、生産臨時情報を提供。全支店・事業所に対策相談室を設け、農作物全般の管理徹底を促した。
- ✓ マネージメントスクール設立(9月)
 儲かる農業経営に向け、30~40代の塾生12人が2年間、財務管理などを学ぶ。
- ✓ 小玉規格トマトパック出荷開始(10月)
 S・2Sの単価アップを狙い、産地パック出荷による契約栽培で3割増しの価格を実現した。
- ✓ ニンニク優良種子増産へ(10月)
 種子生産圃場を30㍍増の4㍍に拡大し、生産農家の規模拡大を後押しする。来年供給分は3万球増の39万球見込む。



地域の活性化

- ✓ 「農業」や「食」を通じて、地域住民との協同活動
 JA地産地消イベントで産地づくめ堪能(2月)、支店のJAまつり(8~11月)、小学校へ出前授業(6~10月)、中高生の就労体験(6~9月)、JA年金友の会「グラウンドゴルフ大会」(9月)、JA収穫祭(10月)、青年部と連携して体験型婚活イベント開催(11月)など。



JA地産地消イベントで地元産づくめ堪能



支店JAまつりで女性部がおにぎり無償提供



出前授業で小学生が地元特産品学ぶ



JA年金友の会のグラウンドゴルフ大会



体験型婚活イベント。地元食材で料理教室

JA十和田おいらせの

自己改革

「農業者の所得増大」
 「農業生産の拡大」
 「地域の活性化」
 に向けた取り組み





JA十和田おいらせは

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の

3つの大きな目標を達成するため、

「創造的自己改革」に取り組みます。



自己改革の実施計画



産地拡大対策事業の継続実施



ながいもムカゴや野菜栽培面積の増反分に対する種苗費助成等の実施により、野菜産地拡大に取り組みます。



JA受託作業の充実

施設利用者の利便性の向上、農産物の高品質出荷に向け、農業施設や収穫機械・共選設備等の充実に図ります。



担い手パワーアップ・アクションの展開



出向く指導体制を強化し、農家組合員の意見・要望等を吸い上げ、JA事業に反映させる訪問活動を展開していきます。



購買事業におけるランク奨励等の実施

予約購買による肥料・農薬等の利用メリットを呼びかけるほか、各種奨励金等の実施により、生産農家のコスト低減を図っていきます。



組合員の加入促進に向けた取り組み

一戸複数組合員制のPRによる正組合員加入を進めるほか、信用・共済事業との連携により、准組合員加入の促進に努めます。

